



「おかやま教育の日」シンボルマーク
11月1日

広げよう!岡山からの支援の輪



岡山県マスコット/ももっち・うらっちと仲間たち

家庭向け教育情報紙 Vol.21 平成23年10月 編集・発行/岡山県教育庁総務課 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号 ☎(086)226-7569
この「こころのわ」は、子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆さんに提供します。

目次

1～3面 《特集》今こそ、落ち着いた学習環境づくりを目指す

4面 《岡山教育トピックス》
・小学校における外国語活動 ・発達障害のある子どもへの支援

5面 ・専門高等学校における産業教育の推進 ・防災教育の推進

6面 《子ども・保護者の声》
・平成22年度「わが家のすこやか日記」優秀作品
・「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」

7面 《困ったときは》・教育相談Q&A ・相談窓口一覧

8面 《お知らせ》

特集 今こそ、落ち着いた学習環境づくりを目指す

平成22年度児童生徒の問題行動等に関する調査(平成23年8月発表)によると、岡山県においては、現在、学校現場では、暴力行為の増加のほか、不登校児童生徒の割合が高いことなど、早急に取り組まなければならない課題が見られます。また、いわゆる学級崩壊や授業が成立しない状況も見受けられます。これらの状況が、もちろんすべての学校にあてはまるわけではありませんが、こうした課題や状況に対しては、学校・家庭・地域、そして関係機関が問題意識を共有し、子どもたちが落ち着いて学校生活を送ることができるよう、県全体で一丸となって取り組んでいく必要があります。

今だからこそ、原点に立ち返り、再確認しましょう 「本来あるべき学校の姿」とは…

【子どもたちが生き生きと活動する魅力ある学校】

子どもたち一人一人が確かな学力を身に付け、意欲的に個性や可能性を伸ばしていくためには、その基盤である、支え合い高め合う集団づくりを行うとともに、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習に集中することができる環境づくりに取り組むことが必要です。このことを追求し続けていくことが、問題行動等を未然に防ぐことにもなるのです。

集団づくり

- 自律・協調性・思いやり・感動
- 豊かな心や社会性



いじめや不登校の解決

規範意識の向上

教員の指導力の向上

環境美化

子どもたちが 生き生きと活動する 魅力ある学校

確かな学力の育成

- 基礎・基本の定着
- 主体的な判断力・行動力
- よりよく問題を解決する力



家庭・地域との連携

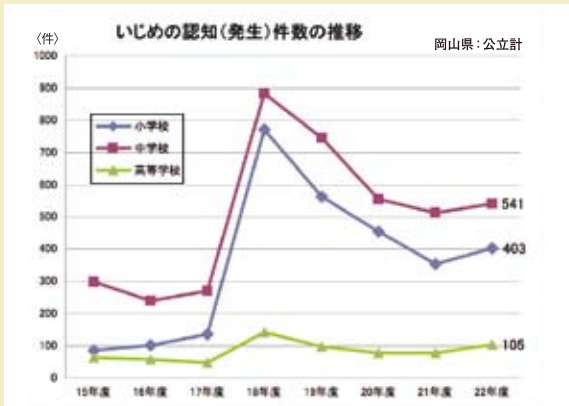
- 基本的な生活習慣
- 地域に開かれた学校



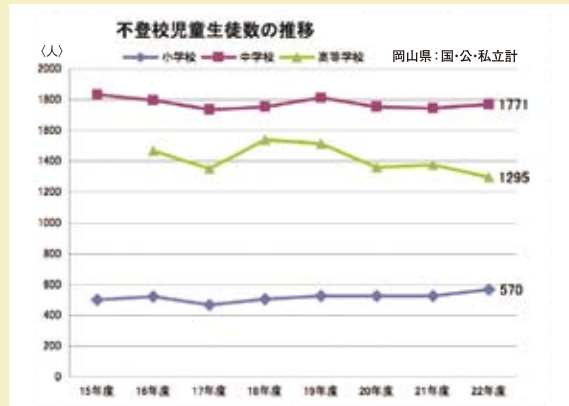
《平成22年度児童生徒の問題行動等に関する調査では》



暴力行為には、教員に対する暴力や生徒同士の暴力などの他に、器物損壊が含まれる。



平成18年度からいじめの定義が見直され、よりいじめを受けた子どもの思いに沿った実態を調査したことから、平成18年度は全国的にも認知件数が増加している。



岡山県では、近年、小・中・高等学校ともに不登校の出現率(児童生徒100人当たりの不登校児童生徒数の割合)が全国平均に比べて高い状況が続いている。

県教育委員会では、警察OBや児童相談所OBなどの支援員が学校を訪問し、必要な支援を行う事業や、地域の方々に協力をいただきながら、学校や教員を支え、共に子どもたちを育てる事業などを展開し、対策を進めているところです。